

エコプリフォーム



湘栄産業株式会社

撮影 坂本直之

使用上の注意点

1. エコプリフォームの強度設計は、側圧60kN/m²となっています。コンクリート打設の際は、側圧が60kN/m²以下となるように打設速度等の管理を徹底してください。
2. 剥離剤は水溶性のものを使用してください。万が一、油性の剥離剤を使用すると、FRP面板に剥離剤が染みこみ、メンテナンスに支障をきたしますので、使用しないでください。
3. 型枠割付図に表示がない支保工等につきましては、各現場にて計画・施工してください。
4. コンクリート打設の際に、金槌等で面板を叩くのはおやめください。また、バイブレーターを直接、面板に当てるのはおやめください。
バイブレーターや木ハンマーにて振動を与えることに支障はありません。
5. FRP面板は、鉄製のケレン棒でこすらないでください。転用する際は、面板をウエスやモップで拭いてから使用してください。
6. 型枠の裏側についたコンクリートのノロは速やかに取り除いてください。アルミフレームに付着したまま長期間放置すると、コンクリートが取れなくなります。
7. エコプリフォームを海中で使用すると、アルミフレームが電食反応を起こして溶解します。
8. ご使用の際には、事前に必ず製品をチェックし、キズ・へこみ・曲がり・破損・亀裂等がある場合には使用しないでください。
9. 玉掛けは、布製のもの（スリング等）で行ってください。
玉掛けワイヤーを直接型枠に直接当てると面板やフレームにキズがつき、製品不良の原因となりますので、養生を行ってください。車両運搬時も同様に注意をお願いします。

エコプリフォームとは？

エコ = Ecology 「環境」

プリ = Prius 「～に先立って」

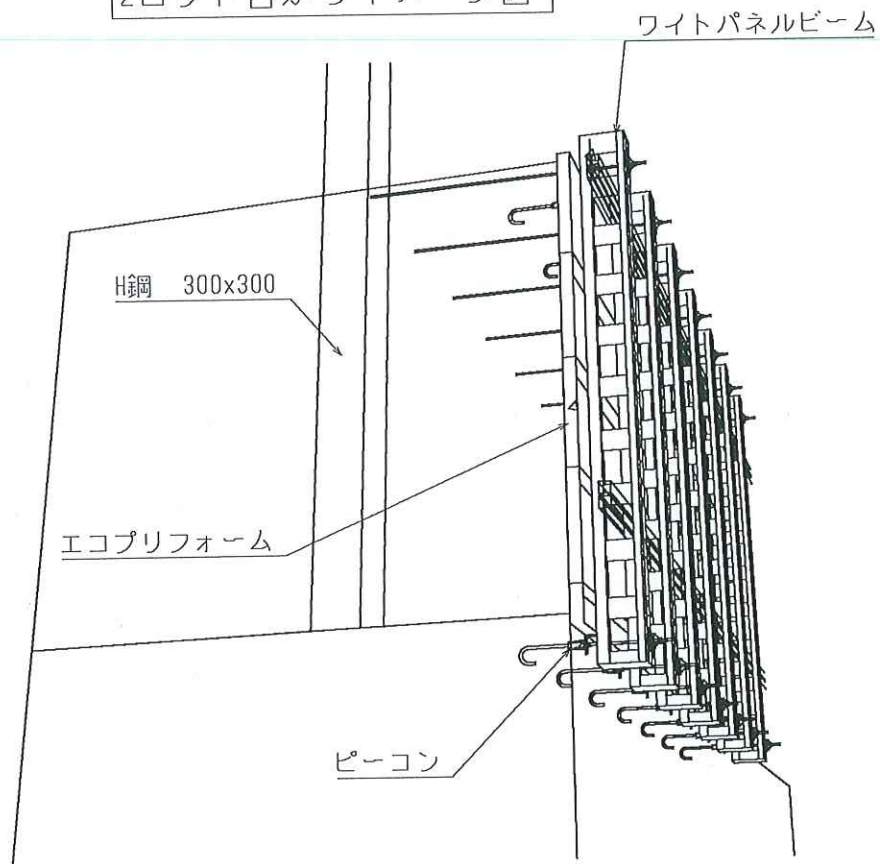
環境を守り未来に先立つ型枠という意味です。



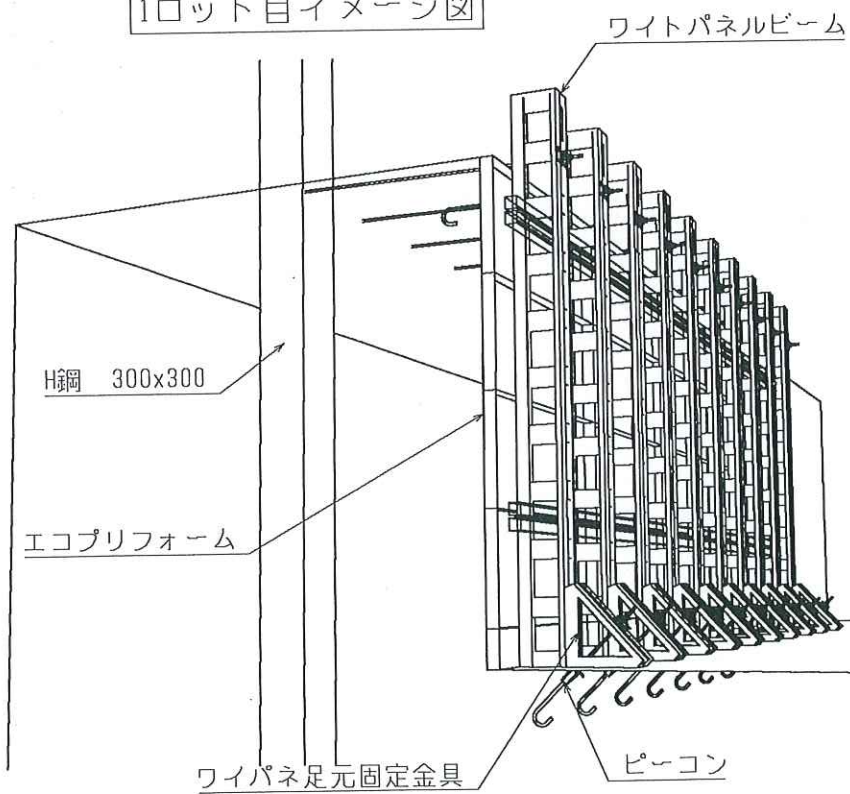
湘栄産業株式会社

〒311-1517 茨城県鉾田市鉾田1068-2 藤井ビル2F TEL0291-33-3388

2ロット目からイメージ図



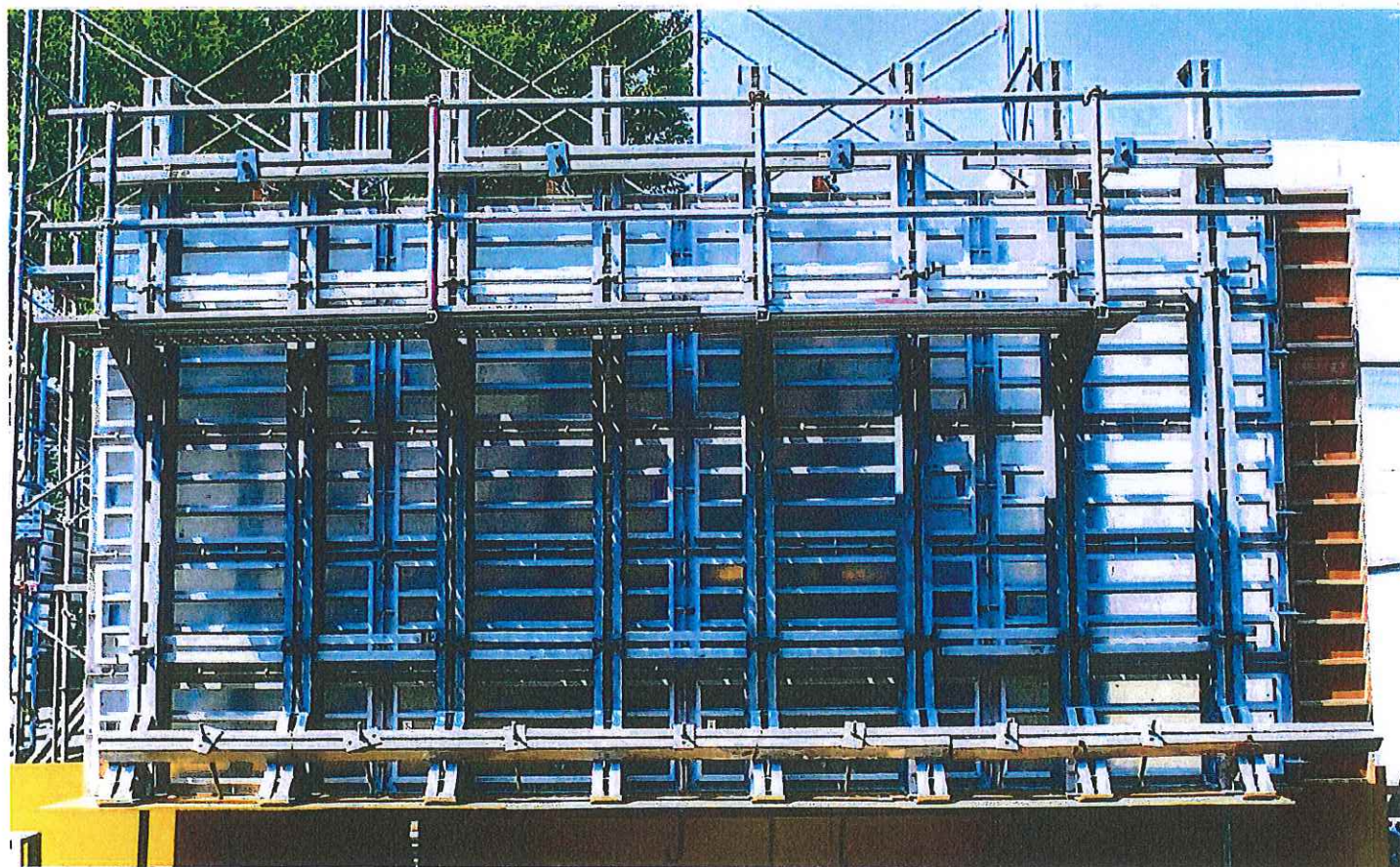
1ロット目イメージ図



エコリフォームを使ったノンセパ工法

S F 片壁工法

登録実用新案第3153803号

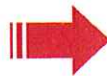


湘栄産業株式会社

従来工法との比較

従来工法

①片壁を設置するまでに
アングル・セパレーターの
溶接が必要



SF片壁工法

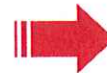
①ビーム材を使用した
大型パネル工法により
アングル・セパレーターの
溶接が不要

②セパレーターを使用する
ため、セパレーター伝いに
漏水を起こし易い



②ユニット化による
ノンセパ工法のため
セパ穴からの漏水なし

③外部防水の場合
セパレーターが取りにくい



③外部防水の場合には
特に有効である

④止水処理に時間と費用が
かかる



④溶接不要やユニット化の為
止水処理の労務費が
軽減でき工期短縮になる

⑤転用回数に限界がある
リサイクル処理も出来ず
廃材処理に費用がかかる



⑤100回超の転用回数が
可能であり、廃材処理の
費用が軽減できる
現場での転用回数により
大幅なコストダウンが可能



